

公表

事業所における自己評価総括表 児童発達支援

○事業所名	いろは			
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様より満足度において、高評価をいただいている	全スタッフの質を高めるために、定期的に事業所内研修を行ったり、虐待防止研修や外部研修などの機会も確保している	毎年研修の見直しを図り、ニーズを拾いながら必要な研修等実施する
2	こどもたちのニーズを拾いながら、こどもたちが楽しく通所できるような活動プログラムの作成を行っている	こどもたちの意見や保護者のニーズを聞きながら、全スタッフで話し合い、固定化しないように考案している	保護者会などでアンケートを配布するなどして保護者目線からの意見も聞き、活動へのプログラムの充実化を努める
3	保護者との細かな情報共有と連携による支援	懇談の際に、保護者のニーズや家庭やデイ、学校での様子を細かく共有しながら、課題設定を行い日々の支援に努めている	家族からの情報等全スタッフに周知し、連携の強化に努める

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリーの環境が十分に整っていない	段差がある、階段手すりが片側のみ	段差スロープやトイレに手すりを設置するなど必要な児童が出た場合に検討する
2	保育所や幼稚園等との交流できる機会が少ない	散策などの活動を通して地域のこどもたちとの交流する機会はあるが、保育所や幼稚園等の交流できる機会が少ない	児童発達支援のニーズが増えれば、地域交流できるイベントなどの開催を検討する
3	父母の会の活動の支援や保護者同士の交流の機会などが少ない	保護者会は毎年実施はしているが、交流できる機会が少ない	今後ニーズがあれば、家族での参加イベントなどの開催を検討し、交流できる機会を増やす